

北九州市の新ビジョンを考える際の視点について

1 北九州市を取り巻く環境


(1) 北九州市が直面する課題

- 日本の他都市やアジアに先んじて本格化する「少子高齢化・人口減少問題」
- 産業構造の転換や企業の流出などによる「経済成長の鈍化」
- DX・GXの推進による「生産性向上・高付加価値化」
- カーボンニュートラルなど「新たな環境問題」への対応 など

(2) 北九州市のポテンシャル

- 多様性を受け入れる包摂性にあふれ、どんなピンチにもひるむことなく、産学官民の連携で前へ前へと突き進んできたチャレンジ精神
- 公害克服を糧に、環境産業や環境国際協力に取り組んできた環境先進都市
- アジアに近く、水源が豊富で、地震が少ないなどの土地の優位性
- ものづくりの街として産業の集積、物流交通インフラの充実 など

2 新ビジョンで目指すまちの視点

- ① 人の熱さや産業の力といった北九州市のポテンシャルを最大発揮することで、「稼げるまち（＝経済成長）」を実現
 - ② 成長の果実で、質の高いサービス（観光、文化など）や生活・教育環境を提供できる「ハイクオリティなまち」
 - ③ また、市民サービスや都市基盤を適切に維持・充実することで、子どもから高齢者、障害の有無、性別、国籍に関わらず、「安全に、安心して暮らせるまち」
- 
- ④ 成長と幸福が好循環する、新たな社会経済システム（成長モデル）を、世界に先駆けて直面する社会課題解決の道筋（ショーケース）として示し、日本全体やアジアに展開

北九州市が実現する
“新たな社会経済システム（成長モデル）”

「ハイクオリティ」
な都市づくり

成長と幸福
の好循環

市民の
「安全・安心」な
暮らしの確保

「稼げるまち」
の実現

世界に先駆けて直面する
社会課題解決の
道筋（ショーケース）を示し、
日本全体やアジアの
発展に貢献

北九州市のあらゆるポテンシャル

— 人情、自然、歴史、地理的優位性、ものづくり産業の集積など —